

大型スポーツ施設
スタッフ間無線連絡システムのご提案
～簡単・安い・シンプル操作で、綿密な仕込み・そつなく本番～



お困りではありませんか？

①敷地が広くて、通話が途切れる。
構内が広いので、
ときどき通話できなくなってしまう。



②操作や管理が複雑なのはちょっと...。
ボランティアやアルバイトさんに来てもらうんだけど
なかなかすぐに使い方を覚えてもらえなくて。



③コストが心配...。
便利なのは解ってるけど
連絡無線って高いんでしょ？
免許もいるんじゃないのかな？



施設内連絡の悩みを解決！
TOAのソリューション

コミュニケーションをサポートし、綿密な仕込み・そつなく本番。

①広範囲な通話エリアをしっかりとカバー。

無給電アンテナ方式で広範囲なエリアをカバー。据置型中継機のエリア拡張を用いることで、直接電波の届かない携帯機～携帯機間の通話が可能です。

②シンプル機能のカンタン操作。

連絡に主眼を置いた無線機は、操作もいたってシンプル。
無線機からの声は全員に聞こえ、どの無線機からも送信が可能。
また常に一人だけ送信でき、指名された人だけが話せます。

③導入コストはもちろん、維持も経済的。

400MHz帯、送信出力10mWの特定小電力無線局のため、無線免許は不要。
事業所用PHSや他の連絡用無線システムと比較しても低価格。
携帯機は1回の充電で約20時間使用でき、長時間の使用でも安心。



連絡用無線システム【携帯機】と
連絡用無線システム【充電器】

連絡用無線システム(中継方式)

- 据置中継機を使用した、エリア拡張システム。
- 直接電波の届かない場合(例:メインスタンド内事務室~スタンド外ゲート等)で携帯機~携帯機間の通話を行ないたい場合のシステム例。

